

第四十五回  
貴族院議會

# 破產法案外一件特別委員小委員會議事速記錄第二號

○大正十一年二月二日(木曜日)午前十時十八分開會  
○委員長(伯爵松平頼壽君) ソレデハ是ヨリ昨日ニ引續  
イテ小委員會ヲ開キマスカラ、御質問ノゴザイマス御方ハ、  
ドウゾ御願ヒ致シマス  
○河村譲三郎君 モウ逐條ノ説明ヲ願フタ方ガ宜イト思  
ヒマスガ、其前ニヨット私大體ニ付テ質問ヲ致シテ置キタ  
イト思ヒマス、ソレハ破產ノ規定ヲ此案ニ依リマシテ、商人  
デナイ者ニ適用スルコトニナリマスト、其結果ガドウ云フコト  
ニナルデアラウカト云フ多少ノ疑念モアリマスノデ、ソレニ付  
テ前會ニモ色々御質問モアリ、御説明モ承ダノデアリマス  
ガ、尙ホモウ少シ具體的ニ御説明ヲ願フテ置キタイ點ガアリ  
マス、ソレハ現行法ニ依リマシテモ、債權者ハ債務者ノ財產  
ヲ差押ヘテ、其ノ結果家資分散ノ宣告ガアルト云フコトニ  
ナルノデアリマス、サウシマスルト其ノ債務者ノ身ノ上ニ對ス  
ル效果ト云フモノハ、矢張り重イ效果ヲ生ズルノアアルト云  
フヤウニ考ヘマスガ、家資分散ノ結果トシテ、債務者ノ身ノ  
上ニ及ボス效果ト、此破產法ニ依テ債務者ノ身ノ上ニ及  
ボス效果ト云フモノハ同一デアリマセウカ、或ハ多少違フノ  
大體デ宜シウゴザイマスケレドモ、場合ヲ擧ゲテ御説明ヲ願  
ヒタク、

○政府委員(山内確三郎君) 此破產法案ハ現行破產  
法ト違ヒマシテ、此法律ニ依テ破產ニ依ル身上ノ效果ヲ  
規定シタモノハ一ツモナイノデアリマス、破產法ノ趣旨カラ  
致シマシテハ、身上ノ效果ヲ破產ニ特有トシテ、特ニ定マレ  
ルモノハナイノデアリマス、身上ノ效果ヲ生ズル規定ハ、寧ロ  
他ノ法律ニ所ニ散見致シテ居ルヤウナ次第ニアリマス、ソ  
レデ私ハ今ソレヲ一々拾ヒ上ダテ數ヘタコトハゴザイマセヌ  
ノデ、細カク承知イタシテ居リマセヌノデス、併ナガラ身上ノ  
效果ノ規定中、破產ト家資分散ノコトハ必ズ一繕ニナラン  
ケレバナラヌ、破產ノ宣告ヲ受ケテ復權セザル者、又家資分  
散ノ宣告ヲ受ケテ債務ノ辨済ヲナサナイト云フヤウナ者ハ、  
必ズ一對ノ文句テ竝ンデ居ルヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、  
ソレトモウ一ツハ今日デハ全ク法律ノ效力ヲ失テ居リマス  
ケレドモ、身代限ノ處分ヲ受ケテ居ル者、此三ツハ必ス三幅  
對デ並ンデ居ル、ソレデアリマスカラ、家資分散ニ依ル身上ノ  
效果ハ、破產ニ依ル身上ノ效果ト云フモノハ、現行法ノ下  
ニ於テ私ノ記憶スル範圍内ニ於テハ全然同一ナンデアリマ  
ス、其一二ヲ擧ダマスト辯護士法ノ中テ破產ノ宣告ヲ受ケ

タリ、身代限ノ處分ヲ受ケ、或ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタ  
ル者ハ右様ノニ(聽取シ難シ)官吏ハ勿論同様ニアッタヤ  
ヒマスガ、其前ニヨット私大體ニ付テ質問ヲ致シテ置キタ  
イト思ヒマス、ソレハ破產ノ規定ヲ此案ニ依リマシテ、商人  
デナイ者ニ適用スルコトニナリマスト、其結果ガドウ云フコト  
ニナルデアラウカト云フ多少ノ疑念モアリマスノデ、ソレニ付  
テ前會ニモ色々御質問モアリ、御説明モ承ダノデアリマス  
ガ、尙ホモウ少シ具體的ニ御説明ヲ願フテ置キタイ點ガアリ  
マス、ソレハ現行法ニ依リマシテモ、債權者ハ債務者ノ財產  
ヲ差押ヘテ、其ノ結果家資分散ノ結果トシテ、債務者ノ身ノ上ニ對ス  
ル效果ト云フモノハ、矢張り重イ效果ヲ生ズルノアアルト云  
フヤウニ考ヘマスガ、家資分散ノ結果トシテ、債務者ノ身ノ  
上ニ及ボス效果ト、此破產法ニ依テ債務者ノ身ノ上ニ及  
ボス效果ト云フモノハ同一デアリマセウカ、或ハ多少違フノ  
大體デ宜シウゴザイマスケレドモ、場合ヲ擧ゲテ御説明ヲ願  
ヒタク、

○政府委員(山内確三郎君) タシカ是ハ民法施行法ノ  
中ニ規定ガアッタト私ハ考ヘテ居リマス、此前申シマシタヤウ  
ニ民法ハ、家資分散ト云フ立  
法ノ趣旨デアリマスカラ、民法ノ中ニ破產ト云フコトヲ書イ  
テ、民法ノ適用ニ付テ當分ノ中ノコトニアリマスケレドモ、家  
資分散ハ破產ノ宣告ト同一ノ效力ヲ有スルト云フヤウ  
規定期間ノ施行法ノ中ニアッタ思ヒマス、民法施行法ノ第二  
條ニ、民法ニ於テ破產ト稱スルハ、民事ニ付テハ、家資分散  
ト云ヒシレカラ商法施行法ノ中ニモ、矢張リ同様ノ規定が  
アッテ、家資分散ト破產ト云フモノヲ同様ニ取扱テ居ルヤ  
ウナ次第ニアリマス

○河村譲三郎君 能ク了解シマシテゴザイマス、ソレカラ  
更ニ御尋シタイコトハ現行法ニ依リマス、非商人ニ對シマ  
シテハ破產法ノ適用ガナイノデゴザイマスカラ、此債權ノ強  
制執行ヲシマスルニハ、民事訴訟法ノ規定ニ依ルノ他ハナ  
イノデアリマス、民事訴訟ノ規定ニ依リマスト、財產ノ種類  
ニ依テ執行ノ方法ヲ異ニシ、手續ヲ異ニシテ居ル、動産ニ對  
シテハ執達吏ガ差押ヘテ競賣ヲシテ配當スルト云ヒ、不動  
產ニ對シテハ裁判所ガ主トシテ強制執行ノ手續ヲ行フト  
云フヤウニナッテ居リマス、船舶ニ對シテハ又特ニ船舶ノ強  
制執行手續ヲ要スル、而シテ不動產船舶ニ付テハ、競賣ヲ  
シテ代價ヲ配當スルト云フ外ニ、ソレドモ、管理シテ其收益ヲ  
配當スルト云フヤウナ手續モアル、ソレカラ債務者ノ債權者

ニ對シテ有シテ居ル債權、債務者ノ權利ノ強制執行ニ  
付テハ、債權ノ差押ト云フ特別ノ方法ニ依テ、サウシテ其債  
權ヲ競賣スル、或ハ其債權ノ儘デ委付スルトカ、種々ナル規  
定ガアッタ思ヒマスガ、其他取引所法ニ於ケル仲買人  
ノ資格ト云フヤウナコトガ、諸般ノ法律ニ同様ニ此ノ兩宣  
告ノ效果ガ並ベテアルヤウデアリマス、若シ御入用デゴザイ  
マスナラバ、時間ヲ御與ヘ下サレマシタナラバ、各法律カラ引  
抜イテ御目ニ掛ケテモ、差支ナインデアリマス

○河村譲三郎君 イツカ各法律カラ、主ナルモノダケデモ  
書抜イテ、御市シヲ願ヒマスコトヲ希望シテ置キマス、チヨッ  
ト唯今御尋イタシマス、民法ニ依リマシテ後見人ニナルコト  
ヲ得ズ、親族會員タルコトヲ得ズトカ云フ規定ノ中ニモ、又  
破產者トアリマスガ、例ヘバ九百八條ノ第五號ノ如キハ破  
產者トアリマスガ、破產者ハ後見人タルコトヲ得ナインデア  
リマスガ、家資分散者ノコトハチヨット見エマセヌガ、是ハドウ  
云フ關係ニナルノデゴザイマス

○政府委員(山内確三郎君) タシカ是ハ民法施行法ノ  
中ニ規定ガアッタト私ハ考ヘテ居リマス、此前申シマシタヤウ  
ニ民法ハ、家資分散ト云フ立  
法ノ趣旨デアリマスカラ、民法ノ中ニ破產ト云フコトヲ書イ  
テ、民法ノ適用ニ付テ當分ノ中ノコトニアリマスケレドモ、家  
資分散ハ破產ノ宣告ト同一ノ效力ヲ有スルト云フヤウ  
規定期間ノ施行法ノ中ニアッタ思ヒマス、民法施行法ノ第二  
條ニ、民法ニ於テ破產ト稱スルハ、民事ニ付テハ、家資分散  
ト云ヒシレカラ商法施行法ノ中ニモ、矢張リ同様ノ規定が  
アッテ、家資分散ト破產ト云フモノヲ同様ニ取扱テ居ルヤ  
ウナ次第ニアリマス

○河村譲三郎君 能ク了解シマシテゴザイマス、ソレカラ  
更ニ御尋シタイコトハ現行法ニ依リマス、非商人ニ對シマ  
シテハ破產法ノ適用ガナイノデゴザイマスカラ、此債權ノ強  
制執行ヲシマスルニハ、民事訴訟法ノ規定ニ依ルノ他ハナ  
イノデアリマス、民事訴訟ノ規定ニ依リマスト、財產ノ種類  
ニ依テ執行ノ方法ヲ異ニシ、手續ヲ異ニシテ居ル、動産ニ對  
シテハ執達吏ガ差押ヘテ競賣ヲシテ配當スルト云ヒ、不動  
產ニ對シテハ裁判所ガ主トシテ強制執行ノ手續ヲ行フト  
云フヤウニナッテ居リマス、船舶ニ對シテハ又特ニ船舶ノ強  
制執行手續ヲ要スル、而シテ不動產船舶ニ付テハ、競賣ヲ  
シテ代價ヲ配當スルト云フ外ニ、ソレドモ、管理シテ其收益ヲ  
配當スルト云フヤウナ手續モアル、ソレカラ債務者ノ債權者

ニアル債務者ノコトニアリマスカラ、債務者モ澤山アルダラウ、澤山アル場合ガ起ラウト思ヒマスガ、是等ガ配當ニ加入シテ、配當ニ付茲ニ争ヒガ起ルト云フコトニナリマスト、更ニ裁判ニ依テ其配當額ノ争ト云フモノヲ決シナケレバナラヌ、サウシテ其配當モ各強制執行ニ付テハ、別々ニ配當ノ手續ヲシナケレバ、ナラヌコトガアリマスカラ、其ノ手數ハ隨分長ク掛カルノミナラズ、財產隱慝ノ虞モ極メテ多シ、手數ガ度ニナルト云フノデ、此爲ニ要スル所ノ執行費用等モ嵩マリソレカラ配當關係ノコトモ、度々爭ガ起ルト云フコトニナッテ更ニ訴訟費用モ餘計掛カルト云フヤウナコトハ、自然免レザルコトアリマス、ノミナラズ債權者ガ一縷ニ配當シテ吳レバ、未ダ宜イデスケレドモ、極ク敏捷ナ債權者ハ早ク強制執行ニ掛シテ全部ノ辨債ヲ受ケル、遅レテ強制執行スル者ハ厘毫ノ辨債モ受ケルゴトが出來ナイ狀態ニ終ルモノモアル、此點ニ付テモ敏捷ナル者ハ優先者トナリ、オトナシイ者ハ劣後ノ位置ニアルト云フ事柄ノ不公平ヲ生ズル、ソレ破產法ハドウ云フコトニナリマスカト云フト、財產全部ヲ一括シテ差押ヘテ、一括シテト云フト語弊ガアルカ知レマセヌガ、免ニ角一ツノ手續テ以テ之ヲ換價シテ行クノアリマス、債權者モ亦届出期間ヲ定メテ、一時ニ之ヲ招集シテ總テノ債權者ヲ集メテ、サウシテ茲ニ配當ニ掛ルト云フコトニナリマスト手續モ一ツデアルシ、ソレカラ債權者ヲ集メテハ即チ網羅スルコトモ亦一ツノ手續アル、換價方法モ一ツノ手續アリ配當モ一ツノ手續アル、換價方法モ一ツノ手續アル債務者ヲ代表シテ居リマス、是ハ寧口雙方ヲ代表シタ意味ノニ對シ、全體ノ債務者ニ對シテ、只一ツノ手續デ此處分ノ済み配當スルコトニナルノミナラズ、此財產處分ノ權限ハ破產管財人ガ一手ニ持テ居リマス、是ハ寧口雙方ヲ代表スルノカ、債務者ヲ代表スルノカ、寧口雙方ヲ代表シタ意味ノ機關トシテ、一手テ處分スル、只此重要ノ財產不動産、是ニ準ズベキ財產タケハ原則トシテ、此民事訴訟法ノ規定ニ依テ換價スルノアリマスカ、勿論管財人ノ同意ヲ得マスレバ矢張リ任意ニ賣却スルコトガ出來ルコトニナシテ居ル、デアリマスカラ、換價手續モ非常ニ是ハ簡便ニ行クノアリマス、サウ云フ次第アリマスカラ、第一番ニ此費用ヲ要スルコトノ少イモ、自カラ從テ出來ル債權者間ノ分配モ極メテ公平ニ行き、全體ノ手續ガ一ツノ手續ニナリマスカラ、結局迅速ニ處分ガ終ルト云フコトガ出來ル、サウ云フ次第アリマスカラ、此強制執行ニ代ヘテ破產手續ヲ行フト云フノハ其商人ニ付テモ非商人ニ付テモ、總テ破產法ノ採テ居ル公平ナ主義、迅速ナル主義ノ目的ヲ達スルノアリマス、

○河村讓三郎君 モウ一應簡單ナコトヲ伺ヒマスガ、若シモ破產法ガ非商人ニ適用サレルト云フコトニナルト、從來ノ強制執行ノコトハ無用ニナルト思ヒマスガ、或ハ又場合ニ依テ破產法ニ依ル、即チ此多數ノ關係ガアル、多數ノ財產ガアル、統一シタ手續ニ依ル方ガ便利デアルト云フタキニハ破產ニ依ルガ、個々ノ財產ヲ換價シテ、ソレデ事ガ濟ムト云フ場合ニハ、矢張リ從來ノ手續ニ依ルト云フコトデ、兩々相俟テ、モ効カセルト云フ御考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 或ハ御問ノ趣意ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセヌガ、強制執行ト破產手續ニ依ル執行ト云フノハ、勿論兩立ヲスル積リデス、即チは商人ニ付テモ非商人ニ付テモ同ジデアリマス、債務者ガ破產狀態ニ瀕シナイ、即チ支拂不能ニナラヌ限りハ、任意ノ辨債ナキ場合ニ於テハ、各個ノ財產ニ付テ強制執行ヲスル外ニハ途ハナコトニナル、斯ウ云フコトニナル考デス

○河村讓三郎君 支拂停止ノ場合ハ、強制執行ノ手續ニ依ルコトガ出來ナイト云フコトニナル譯デアリマセウカ、或ハ自然ニサウ云フ結果ニナルト云フ譯デアリマスカ、法規ノ上デサウハナラヌヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(山内確三郎君) 支拂停止ヲシタカラ、直チニ強制執行ヲ止メルト云フノデハナイノデゴザイマス、ソレヲ起因トシテ破產宣告ヲシタ後ハ、個々ノ強制執行ト云フコトハ許サヌ、斯ウ云フノガ原則デアリマス、私ノ申シマシタノハ、サウ法律的ニ細カク嚴格ニ言ツタノデハナインデ、破產狀態ニ陥ダモノニ對スル強制執行ハ破產手續ニ依ル、然ニ破產法ノ非商人ニ適用シテモ、此ノ家資分散法ハサウ自由ハ利カシシテ、債權者ガ差押ヘテ來レバ、仕方ガナイ、其債權者ニ全部取ラヌカラ、總テノ債權者ニ公平ニ分ケテヤリタイト云フ考ガアリマシテモ、此ノ家資分散法ハサウ自由ハ利カシシテ、債權者ガ差押ヘテ來レバ、仕方ガナイ、其債權者ニ全部取ラヌカラ、總テノ債權者ニ公平ニ分ケテヤリタイト云フ考ガアリマシテモ、此ノ家資分散法ハサウ自由ハ利カシシテ、債權者ガ其財產ヲ公平ニ分配スルト云フコトニナルノデ、又其爲ニ債務者ノ方カラ破產ノ申請ヲスルコトニ法律案ハ認メテ居ルノミナラズ進シテ身分上ノ效果ヲ避けヤウト思ヘバ、和議法ノ定ムル所ニ依リマシテ、和議ヲスルコトモ出來ルノデ、其公平誠實ノ辨濟モ出來レバ、家資分散ノ身上ノ效果ヲ避ケル途モ此ニ出來テ居ルト云フヤウナ、債務者ニモ頗爾便利ダト考ヘマス、債權者ノ方ハ場合ニ依レバ、貧慾ナ債權者ニハ損ニナルカモ知レマセヌガ、先シジテ全部取テヤラウト云フヤウナコトハ、堰カレテ居リマスカラ、全體ノ債權者ニ公平ニ迅速ニ手續が行ハレルト云フ意味ニ於テ、總債權者ヲ保護シマシテ、丁度保険見タヤウナ具合ア、破產ニ依ル所ノ云フヤウナコトハ、堰カレテ居リマスカラ、全體ノ債權者ニモ頗爾便利ダト考ヘマス、債權者ノ方ニモ便利デアル、債權者ノ方ニモ極メテ都合ノ好イコトニナル積リデアリマス

○松室致君 私モ御尋致シマスガ、今ノ御説明ノ中ニ強制執行ヨリカ、餘程普通ヨリハ簡易ニナルト云フ御話デスガ、ソレヲモウ少シ御説明ヲ願ヒタイデスガ、却テ強制執行

ノ方ガ私ハ早ク行キハセヌカト思フノデスガ、此手續ニ依ル  
破産ヲ宣告サレテ、債權ノ申立トク、ソレカラ債權ガアルヤ  
否ト云フコトノ調ベトク、色ニノ手續ガ重ナシテ行クニヤナラ  
ヌデスガ、サウシテヤシテ見テ澤山ナ債權者ガ出テ來リヤ宜イ  
デスケレドモ、出テ來ナイ時分ニハ殆ド無駄ナ日數ヲ費サニ  
ヤナラヌ、併シ強制執行デ行クトソンナ無駄ナ手續ガナイ、  
ズンニ進シテ行クノデスカラ、外ニ債權者ガアツテ配當加  
入ヲ申込マニヤナラヌト云フ時ニナシテ、初メテ其分配トク云  
フコトガ起シテ來ルノデスケレドモ、ソレニシテモソレマニモ  
ウ大分手續ガ進シテ居ルノデスカラ、矢張リ結局纏ルノハ  
早ク纏リハシマセヌカ、強制執行ノ方ガ…

○政府委員(山内確三郎君) 債權ヲ届出デシメテ之ヲ調  
査スルト云フコトガ、非常ニ複雜ノヤウデアリマスケレドモ、  
是ガ即チ極メテ簡便ナルコトニナルノデ、ト申シマスノハ強  
制執行ヲシヤウト云フナラバ、必ズ其前ニ判決ヲ受ケネバナ  
ラヌ、判決ガ確定シテ初メテ強制執行ニ掛ルト云フノガ通  
常ノコトニナルノデ、ソコデ債權者ガ澤山居ルト云フコトニ  
ナシテ來マスト云フト、其各債權者ガ皆ナ各自訴訟ヲ起シテ  
判決ヲ確定セシムテ、サウシテ各自ガソレニ分取ラヌル、斯  
ウ云フコトニナシテ來ル、其強制執行ハ各債權者ノ爲ニレ  
ソレ行ハレルシ、餘程其訴訟關係ニ付テモ極メテ復雜ニナ  
テ來ル、其結果同時ニ不公平ト云フコトモ出テ來ルノデ、此  
債權調査ノ方ニナリマスト、債權者ヲ或一定ノ期間ヲ定メ  
テ届出デサシテ、其債權者ヲ集會サシテ、其債權ハ其處ニ持  
出ス、總債權者ニ於テ異議ナキモノハ其儘確定シテ仕舞フ、  
其異議アル者ニ付テハ、直クニ破産裁判所ニ於テ裁判ラシ  
テ仕舞フ、異議ガナケレバ判決モ要ラヌ、訴訟モ要ラヌトス  
ウ云フコトニナシテ來ルノデアリマス、其多數債權者ノ債權  
ヲ一時ニ調査スルコトガ一回二回ニ手續デ大體進シテ、而  
シテ異議アル者ハドウシテ置キマスカラト云フト、是ハ訴訟  
ガ繼續スルノデアリマス、其分ダケハ先づ供託ヲシテ置イテ、  
其債權者ノ方ニ配當スベキモノハ先づ疑ガアレバ供託ヲシ  
テ置イテ、サウシテ外ノ債權者ニハ配當ヲシテ行クト云フコ  
トニナリマスカラ、全體ノ債權者ノ爲ニ、極メテ一時ニ簡便  
ニ事ガ運ブコトニナシテ來ル、勿論只一人シカ債權者ガナカ  
タ、結果ニ於テデス、サウ云フコトヲ考ヘマスレバ、モウ債權  
者ニ付テ異議アル者モ無イ譯ナシ、直チニ其配當ヲシテ言  
行クコトニナシテ來マスガ、一人ノ債權者デハアツモ強制執  
行ニ掛ラナケレバナラヌ、其場合ニ結果ハ一人ノ債權者デ  
アルケレドモ、何人居ルカ知レヌカラ債權届出ノ期間ト云フ  
モノガ定マリマシテ、其期間ダケガ延ビル、併ナガラ一人ノ

債權者ノ爲ニ破産手續ヲ執行スルト云フコトハ、殆ド想像  
スルコトガ出來ナイ、多ク多數債權者ガアル場合ダラウト思  
フ、ソコデ敏捷ノ人ガ一人アツテ、先づ先キニ例ヘバ公正證  
ヌデスガ、書ナドヲ作ツテ置イテスルト云フコトニナレバ、其一人ノ爲  
デスケレドモ、出テ來ナイ時分ニハ殆ド無駄ナ日數ヲ費サニ  
ヤナラヌ、併シ強制執行デ行クトソンナ無駄ナ手續ガナイ、  
ズンニ進シテ行クノデスカラ、外ニ債權者ガアツテ配當加  
入ヲ申込マニヤナラヌト云フ時ニナシテ、初メテ其分配トク云  
フコトガ起シテ來ルノデスケレドモ、ソレニシテモソレマニモ  
ウ大分手續ガ進シテ居ルノデスカラ、矢張リ結局纏ルノハ  
早ク纏リハシマセヌカ、強制執行ノ方ガ…

○松室致君 御説明ハリマシタガ、モウ一ツ御尋シタイ  
ノデス、商人トカ會社、商人デナイ會社デアツテモ取引ガ餘程  
多イノデスカラ、關係者モソテ餘程多イ、ソレデ御説明ノ如  
キ破産手續ト云フモノガ初メテ必要ニナシテ來ルノデセウガ、  
程私ハ澤山ノモノデアルトスウ考ヘテ居ル

○松室致君 御説明ハリマシタガ、モウ一ツ御尋シタイ  
ノデス、商人トカ會社、商人ニアラザルモノハ多ク取引ハ繁雜デナ  
至シテ簡単ナルモノデアルダラウト思フ、配當加入者ガアタ  
所ガソンナ面倒ナモノデハアルマイト思フ、サウスルト矢張リ  
商人トカ會社トカト云フモノダケノコトニ破産手續ヲ止メ  
テ置イテ、其他ノ個人ニ付テハ矢張リ強制執行ヲ是マデノ  
通リノ法ニシテ置ク方ガ宜クハナイカト云フヤウナ疑ヲ起ス  
ノデアリマスガ、其點ハ如何デセウ

○政府委員(山内確三郎君) 先づ概シテ商人ニ付テ債  
權者ノ數ノ多イト云フノガ先づ普通デアリマス、併ナカラ細  
カイコトヲ言フヤウデスケレドモ、商人ト云ヒマシテモ車一臺  
曳イテ客ヲ乗セテ居ルノモ商人、商法ノ規定ハ適用シナイ  
ガ、商人タルコトヲ妨ダナイ、又極端ニ言ヘバ下駄ノ齒入屋  
デアラウカ(デイ)、屋デアラウカ、商法ノ意味カラ言ヘバ皆  
商人、斯ウニ云フ連中ニ付テ破産手續ガ行ハレルト云フコト  
ハ殆ド想像スルコトハ要ラヌダラウ、又一面カラ申シマスト  
云フト、商人デナイ者デモ、御承知ノ通リニ石炭ヲ掘ル炭坑  
ノ坑主デス、是ハ商人デハナインデス、併ナガラ此取引ト云  
フモノハ、生産シテサウシテ之ヲ販賣スル爲ノ債權債務ノ關  
係ト云フモノハ、餘程複雜シタモノデアラウト思フ、概シテ言  
ハバ商人ノ方が取引關係ガ複雜デアラウトハ考ヘマスケレ  
ドモ、併ナガラ取引ノ複雜シテ居ルモノハ必ズシモ商人ニ限  
ラナイノデ、所謂總テノ生產會社、或ハ會社デナイ生產ノ一  
個人、生產業ヲシテ居ル、斯ウ云フ者ハ皆商人ニアラズシテ  
複雜ナル關係ヲモシテ居ル、併ナガラ例ヲ極端ニトシテ見レバ  
我と官吏デス、是ハマア取引ナドハ殆ドナイ、債權債務ト云  
フモノハ一ヶ月ノ拂ヒ以外ニハ債務ト云フモノハナイヤウデ  
アルケレドモ、何人居ルカ知レヌカラ債權届出ノ期間ト云フ  
テ起ルト云フコトモ私ハナカラウト思ヒマス、サウ云フ次第デ

コトニナシテ來ル、後ニ債權者ガ出テ來ルト、一人ノ債權者ノ  
爲ニモ破産ヘ適用スベキモノノデアル、他ノ債權者ヲ手續上  
除外スル、除外スル意味ニ於テ、除斥スル意味ニ於テ一人ノ  
爲ニモ強制執行スルト云フコトニナシテ居ルノア、理論トシテ  
ノ關係カラ一般強制執行ト特別強制執行トハ必ズ並立シ  
ナケレバナラヌト云ノカ基テ出來テ居ル、詰リ簡單ナル取  
引關係ノモノニハ、破産ヲ適用スベキモノノデハナイガ、區別ガ  
分ラヌカラ皆ヤッテ了フ、ダト云フヤウナ趣意デ、此案ガ出來  
タノデハナイノアリマス

○河村讓三郎君 大分大體ノ質問モ綿密ニ入テ參リマス  
スデスガ、此邊ニ案ノ説明ヲ…大體ノ説明ヲ承ッタ方ガ却  
テ此諒解ヲ得ルニ便宜デハナイカト思ヒマス、如何デアリマ  
スカ

○菅原通敬君 チヨト其前ニ簡單ニ…

○松室致君 私モ其前ニ質問ヲシタイコトガアリマスガ  
○菅原通敬君 元ノ此支拂猶豫ト云フ制度ハ御廢シニナ  
タノデアリマスカ、今ノ債務者ノ苦痛ヲ緩和スルト云フ上ニ  
於テハ、無論此支拂猶豫ノ規定モ必要デアラウト思ヒマス、  
願ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 支拂猶豫ノ規定ヲ削除イ  
ニ變ヘラレタ御趣意ナノデアラウト思ヒマスルガ、此支拂猶  
豫ノ制度ト強制和議ノ制度ト比較セラレテ、ドウ云フヤウ  
ニ大體ガ變ヘテ行カレタノデアリマスカ、ソコヲ大體御説明ヲ  
願ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 支拂猶豫ノ規定ヲ削除イ  
ニ變ヘラレタ御趣意ナノデアラウト思ヒマスルガ、此支拂猶  
豫ノ制度ト強制和議ノ制度ト比較セラレテ、ドウ云フヤウ  
ニ大體ガ變ヘテ行カレタノデアリマスカ、ソコヲ大體御説明ヲ  
願ヒマス

○松室致君 チヨト今ノ法典調査會ノ、支拂猶豫ノ手續  
ヲ削ッテ、而シテ強制和議ノ制度ヲ定メナカダト云フ時ノ  
御考ハドウデスカ

○政府委員(山内確三郎君) ソレヲ色々前ノ先輩ニ聽イ  
テ見マシタケレドモ、ハキリシタ説明ハ私ハ得ルコトガ出來  
ナカッタノデアリマス、ドウモ私自ラ考ヘマシテモ其理由ハマ  
ダ發見シナイノアリマス

○松室致君 モウ一ツ御尋シマスガ、此破産法ガ行ハレル  
ヤウニナシテモ、家資分散法ハ矢張リ目下ノ通りデスカ  
○政府委員(山内確三郎君) 此附則ノ中テ、家資分散法  
之ヲ廢止スルト云フ特別明文ヲ置イテ、將來ニ向テハ家資  
分散ノ手續ハヤメルコトニナルノアリマス

○松室致君 サウヤスカ、サウスルト此他ノ法律ニ家資分  
散ノ效果ニ於テ、官吏ニナルコトガ出來ヌカトカ何トカ云フ  
規定ガアル、ソレハドウナリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 其點モ附則ノ中ニ掲ゲマシ  
テ、矢張リ既ニ家資分散ノ宣告ヲ受ケテ確定シテ居ル者ハ、  
破産者ト同様ノ身上ニ效果ヲ受ケタルモノデアル、云フ意  
味ノ規定ヲ附則ノ中ニ置キマシタコトニナシテ居リマス  
○松室致君 サウヤスカ、ソレカラ此破産ノ宣告ガ確定ス  
ルト云フノハ、矢張リ抗告ノ出來ル場合ニハ抗告ヲシテ、破  
產手續ノ始マラヌ前ニ既ニ確定スルノデスナ、確定シテカラ  
適宜ノ時機ニ於テ早ク管理ニ掛ラナケレバナラヌサウ云フ

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ現行法ト大體ニ於テ  
趣意ハ同ジテアリマシテ、破産ノ宣告ガアレバ、其確定ヲ待  
タズシテ直チニ其手續ヲ始メルト、是ハ迅速ニ財產ヲ押ヘテ  
御考ガ多數アリマスレバ、ソレデモ宜シウゴザイマス、皆サン  
ニ御説リシテ見タイト思ヒマス、各條ニ參リマスカ、第一編  
ダケ各章デ、二編ハ分割シテ説明ヲ願シタラドウカト思テ居  
リマス

○加太邦憲君 成ベク餘リ長クナク…

○藤田四郎君 私ハ唯今河村委員ノ言ハレル通り、松室  
サンノ御話デシタカ、ドナタデシタカ、先づ免モ角一章宛トシ  
テ説明下サリマシテ尙ホ分ラヌ處ヲ御尋スルト云フコトニ  
願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス、ソレナラ  
バ第一編、實體規定ト云フ所ニ於キマシテ、其中ノ第一章  
總則ト云フ章ニ依リマシテ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○藤田四郎君 尤モ御説明書ヲ貰テ居リマスカラ、普通  
ノ處ハ宜シイ、斯ウ云フ處ト云フ御注意ノ處ダケデモ宜シウ  
ゴザイマス

○政府委員(山内確三郎君) 此第一章ハ、破産ニ關スル  
實體規定中ノ通ジタ原則ヲ茲ニ掲ゲタノアリマス、一條  
ニ於テ宣告ノ時ヨリ其ノ效力ヲ生ズト書キマシタノハ、唯今

抗告ガ棄却ニナルカ、抗告ヲシナイデ確定スルト云フ場合ニ  
ハ私ハナカッタラウト思フ、法典調査會案デ之ヲ削ニ強制  
和議ダケニシタ上云フコトニ付テハ、我々ハ寧ロ反對ヲ致シ  
ハモウ凡テノ效果ヲ生ズルノデスカ

○政府委員(山内確三郎君) サウ云フコトニナリマス  
テ居ラタ、幸ヒ此和議問題ヲ研究スルニ當ラテ、破産法中ニ支  
拂猶豫ヲ入レルヨリモ和議法テ以テ働カウト云フノデ、破  
産法ト和議法ト云フモノヲ離シテ起草スルニ至ラタ次第デ  
アリマス

○松室致君 チヨト今ノ法典調査會ノ、支拂猶豫ノ手續  
ヲ削ッテ、而シテ強制和議ノ制度ヲ定メナカダト云フ時ノ  
御考ハドウデスカ

○政府委員(山内確三郎君) アルノデゴザイマス、併ナガ  
テ見マシタケレドモ、ハキリシタ説明ハ私ハ得ルコトガ出来  
ナカッタノデアリマス、ドウモ私自ラ考ヘマシテモ其理由ハマ  
ダ發見シナイノアリマス

○松室致君 モウ一ツ御尋シマスガ、此破産法ガ行ハレル  
ヤウニナシテモ、家資分散法ハ矢張リ目下ノ通りデスカ  
○政府委員(山内確三郎君) 此附則ノ中テ、家資分散法  
之ヲ廢止スルト云フ特別明文ヲ置イテ、將來ニ向テハ家資  
分散ノ手續ハヤメルコトニナルノアリマス

○松室致君 サウヤスカ、サウスルト此他ノ法律ニ家資分  
散ノ效果ニ於テ、官吏ニナルコトガ出來ヌカトカ何トカ云フ  
規定ガアル、ソレハドウナリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 其點モ附則ノ中ニ掲ゲマシ  
テ、矢張リ既ニ家資分散ノ宣告ヲ受ケテ確定シテ居ル者ハ、  
破産者ト同様ノ身上ニ效果ヲ受ケタルモノデアル、云フ意  
味ノ規定ヲ附則ノ中ニ置キマシタコトニナシテ居リマス  
○松室致君 サウヤスカ、ソレカラ此破産ノ宣告ガ確定ス  
ルト云フノハ、矢張リ抗告ノ出來ル場合ニハ抗告ヲシテ、破  
產手續ノ始マラヌ前ニ既ニ確定スルノデスナ、確定シテカラ  
適宜ノ時機ニ於テ早ク管理ニ掛ラナケレバナラヌサウ云フ

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ現行法ト大體ニ於テ  
趣意ハ同ジテアリマシテ、破産ノ宣告ガアレバ、其確定ヲ待  
タズシテ直チニ其手續ヲ始メルト、是ハ迅速ニ財產ヲ押ヘテ  
御考ガ多數アリマスレバ、ソレデモ宜シウゴザイマス、皆サン  
ニ御説リシテ見タイト思ヒマス、各條ニ參リマスカ、第一編  
ダケ各章デ、二編ハ分割シテ説明ヲ願シタラドウカト思テ居  
リマス

○加太邦憲君 成ベク餘リ長クナク…

○藤田四郎君 私ハ唯今河村委員ノ言ハレル通り、松室  
サンノ御話デシタカ、ドナタデシタカ、先づ免モ角一章宛トシ  
テ説明下サリマシテ尙ホ分ラヌ處ヲ御尋スルト云フコトニ  
願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス、ソレナラ  
バ第一編、實體規定ト云フ所ニ於キマシテ、其中ノ第一章  
總則ト云フ章ニ依リマシテ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○藤田四郎君 尤モ御説明書ヲ貰テ居リマスカラ、普通  
ノ處ハ宜シイ、斯ウ云フ處ト云フ御注意ノ處ダケデモ宜シウ  
ゴザイマス

○政府委員(山内確三郎君) 此第一章ハ、破産ニ關スル  
實體規定中ノ通ジタ原則ヲ茲ニ掲ゲタノアリマス、一條  
ニ於テ宣告ノ時ヨリ其ノ效力ヲ生ズト書キマシタノハ、唯今

松室委員ヨリ御尋ノアッタ趣旨ニ御答へ致シマス、即チ確定ヲ待タズシテ破産ハ其効力ヲ生ズルモノアル、云フ意味ヲ明カニシタコトニナル、第二條ト第三條ハ、破産ノ效力ニ於テ即チ破産ハ國內破産ノ主義ヲ取リマシテ、外國ニマデハ其効力ヲ及ボサナイ、又人ニ付テモ各國ノ法律モ斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、破産上ノ権利主義ヲ有スルモノハ、即チ内國人ト云フノガ本ニナッテ居リマス、サウシテ其破産ノ宣告ガアルト、其宣告シタル破産ノ效果トシテ、財産ハ日本ニアル財産デ、外國マデ其効力ヲ及ボスト云フコトニナルト、餘程錯雜スルノデアリマス、又サウシテ各國裁判權ノ關係上破産ノ效力ヲ其國內ニ止メテ外國ノ宣告ヲ國內ニマデ及ボサナイト云フ趣意ニナッテ居リマス、其趣旨ヲ茲ニ明ニシタノケデアリマス、四條モ是モ簡單ナ事柄デ、理由書ニ書キマシタ意義以外ニ申上ゲルコトハナインノアリマス、五條ハ是ハ相續財產ト相續人、此コトニ付キマシテハ、破產法ノ金般ニ互リマシテ諸般ノ規定ガアル、此相續財產ト申シマスト、先代ガ死ンデ相續が茲ニ始マテ、即チ相續人ガ相續ヲシタ後ニ於キマシテ、先代カラ受繼イタ財產ガ、即チ此相續財產ト云フノニナルノデ、ソレデ此相續財產モ勿論相續人ノ財產デアル、併ナガラ此破産法案デハ相續財產ト云フモノハ、相續人カラ離レタ一ツノ財團ト見マシテ、之ニ對シテハ破產ノ宣告ヲ獨立シタル人格ニアマセヌケレドモ、殆ド獨立シタ人ト同様ニ見マシテ、其財產ダケヲ本ニシテ、破産ノ申請ヲ爲シ、破産ノ宣告ヲ爲スコトガ出來ルト云フ趣意ヲ、全般ニ通ジテ取テ居ル、其所デ茲ニ相續人、又ハ相續財產ニ對スル破產ノ宣告ト申シマスルノハ、即チ相續人ガ自分ガ元カラ持テ居ラ財產ニ對スル破產ノ宣告ノ場合モアリマスルシ、ソレカラ相續人ニ對スル破產ノ宣告ヘバ、自分ノ財產ト相續財產ト全部合シテ、即チ是ハ一般ノ總財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル場合モ、相續人ニ對スル破產ノ宣告、相續財產ニ對スル破產ノ宣告ト云フノ、唯今申シマシタ財團ヲ分離シテ、其財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル、斯ウニ云フ手續ニナッテ居ルノデアリマス、所カ民法ニハ相續ノ場合ニ限定承認ト云フコトト、財產分離ト云フコトガ別ニアル、限定承認ト申シマスト、御承知ノ通りニ茲ニ相續ガ起テモ、先代ハ澤山ノ負債ヲ残シテ死ンデ居ルノアルカラ、其負債ヲ全部自分が引受けケルト云フコトニナル、到底浮ブ時ガナイノアル、ト云フヤウナ場合ヲ豫想シテ、先代ノ財產限リデ自分ハ相續ヲスルト云フ手續ヲ民法ニ於テ認メテ居ル、是ガ限定承認ト云フコトニナルノアリマス、限定承認ノ場合ニハ此民法ノ規定ニ依ルト、相續財產ト相續人ノ固有ノ財產、是ハ分離ヲシ

テ、テ一々勘定シテ行ク、斯ウ云フコトニナッテ居ル、限定承認ハシナイ、寧口單純承認ヲシテ無條件デ先代ノ債務ヲ引受ケルト云フ場合ニ於キマシテモ、此ノ先代ノ債權者ハ、例ヘバ其財產ト云フモノガ相續人ノ財產ト一緒ニナッテハ、其效力ヲ及ボサナイ、又人ニ付テモ各國ノ法律モ斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、破産上ノ権利主義ヲ有スルモノハ、即チ内國人ト云フノガ本ニナッテ居リマス、サウシテ其破産ノ宣告ガアルト、其宣告シタル破産ノ效果トシテ、財產ハ日本ニアル財產デ、外國マデ其効力ヲ及ボスト云フコトニナルト、餘程錯雜スルノデアリマス、又サウシテ各國裁判權ノ關係上破産ノ效力ヲ其國內ニ止メテ外國ノ宣告ヲ國內ニマデ及ボサナイト云フ趣意ニナッテ居リマス、其趣旨ヲ茲ニ明ニシタノケデアリマス、四條モ是モ簡單ナ事柄デ、理由書ニ書キマシタ意義以外ニ申上ゲルコトハナインノアリマス、五條ハ是ハ相續財產ト相續人、此コトニ付キマシテハ、破產法ノ金般ニ互リマシテ諸般ノ規定ガアル、此相續財產ト申シマスト、先代ガ死ンデ相續が茲ニ始マテ、即チ相續人ガ相續ヲシタ後ニ於キマシテ、先代カラ受繼イタ財產ガ、即チ此相續財產ト云フノニナルノデ、ソレデ此相續財產モ勿論相續人ノ財產デアル、併ナガラ此破産法案デハ相續財產ト云フモノハ、相續人カラ離レタ一ツノ財團ト見マシテ、之ニ對シテハ破產ノ宣告ヲ獨立シタル人格ニアマセヌケレドモ、殆ド獨立シタ人ト同様ニ見マシテ、其財產ダケヲ本ニシテ、破産ノ申請ヲ爲シ、破産ノ宣告ヲ爲スコトガ出來ルト云フ趣意ヲ、全般ニ通ジテ取テ居ル、其所デ茲ニ相續人、又ハ相續財產ニ對スル破產ノ宣告ト申シマスルノハ、即チ相續人ガ自分ガ元カラ持テ居ラ財產ニ對スル破產ノ宣告ノ場合モアリマスルシ、ソレカラ相續人ニ對スル破產ノ宣告ヘバ、自分ノ財產ト相續財產ト全部合シテ、即チ是ハ一般ノ總財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル場合モ、相續人ニ對スル破產ノ宣告ト云フノ、唯今申シマシタ財團ヲ分離シテ、其財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル、斯ウニ云フ手續ニナッテ居ルノデアリマス、所カ民法ニハ相續ノ場合ニ限定承認ト云フコトト、財產分離ト云フコトガ別ニアル、限定承認ト申シマスト、御承知ノ通りニ茲ニ相續ガ起テモ、先代ハ澤山ノ負債ヲ残シテ死ンデ居ルノアルカラ、其負債ヲ全部自分が引受けケルト云フコトニナル、到底浮ブ時ガナイノアル、ト云フヤウナ場合ヲ豫想シテ、先代ノ財產限リデ自分ハ相續ヲスルト云フ手續ヲ民法ニ於テ認メテ居ル、是ガ限定承認ト云フコトニナルノアリマス、限定承認ノ場合ニハ此民法ノ規定ニ依ルト、相續財產ト相續人ノ固有ノ財產、是ハ分離ヲシ

テ、テ一々勘定シテ行ク、斯ウ云フコトニナッテ居ル、限定承認ハシナイ、寧口單純承認ヲシテ無條件デ先代ノ債權者ハ、例ヘバ其財產ト云フモノガ相續人ノ財產ト一緒ニナッテハ、其效力ヲ及ボサナイ、又人ニ付テモ各國ノ法律モ斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、破産上ノ権利主義ヲ有スルモノハ、即チ内國人ト云フノガ本ニナッテ居リマス、サウシテ其破産ノ宣告ガアルト、其宣告シタル破産ノ效果トシテ、財產ハ日本ニアル財產デ、外國マデ其効力ヲ及ボスト云フコトニナルト、餘程錯雜スルノデアリマス、又サウシテ各國裁判權ノ關係上破産ノ效力ヲ其國內ニ止メテ外國ノ宣告ヲ國內ニマデ及ボサナイト云フ趣意ニナッテ居リマス、其趣旨ヲ茲ニ明ニシタノケデアリマス、四條モ是モ簡單ナ事柄デ、理由書ニ書キマシタ意義以外ニ申上ゲルコトハナインノアリマス、五條ハ是ハ相續財產ト相續人、此コトニ付キマシテハ、破產法ノ金般ニ互リマシテ諸般ノ規定ガアル、此相續財產ト申シマスト、先代ガ死ンデ相續が茲ニ始マテ、即チ相續人ガ相續ヲシタ後ニ於キマシテ、先代カラ受繼イタ財產ガ、即チ此相續財產ト云フノニナルノデ、ソレデ此相續財產モ勿論相續人ノ財產デアル、併ナガラ此破産法案デハ相續財產ト云フモノハ、相續人カラ離レタ一ツノ財團ト見マシテ、之ニ對シテハ破產ノ宣告ヲ獨立シタル人格ニアマセヌケレドモ、殆ド獨立シタ人ト同様ニ見マシテ、其財產ダケヲ本ニシテ、破産ノ申請ヲ爲シ、破産ノ宣告ヲ爲スコトガ出來ルト云フ趣意ヲ、全般ニ通ジテ取テ居ル、其所デ茲ニ相續人、又ハ相續財產ニ對スル破產ノ宣告ト申シマスルノハ、即チ相續人ガ自分ガ元カラ持テ居ラ財產ニ對スル破產ノ宣告ノ場合モアリマスルシ、ソレカラ相續人ニ對スル破產ノ宣告ヘバ、自分ノ財產ト相續財產ト全部合シテ、即チ是ハ一般ノ總財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル場合モ、相續人ニ對スル破產ノ宣告ト云フノ、唯今申シマシタ財團ヲ分離シテ、其財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル、斯ウニ云フ手續ニナッテ居ルノデアリマス、所カ民法ニハ相續ノ場合ニ限定承認ト云フコトト、財產分離ト云フコトガ別ニアル、限定承認ト申シマスト、御承知ノ通りニ茲ニ相續ガ起テモ、先代ハ澤山ノ負債ヲ残シテ死ンデ居ルノアルカラ、其負債ヲ全部自分が引受けケルト云フコトニナル、到底浮ブ時ガナイノアル、ト云フヤウナ場合ヲ豫想シテ、先代ノ財產限リデ自分ハ相續ヲスルト云フ手續ヲ民法ニ於テ認メテ居ル、是ガ限定承認ト云フコトニナルノアリマス、限定承認ノ場合ニハ此民法ノ規定ニ依ルト、相續財產ト相續人ノ固有ノ財產、是ハ分離ヲシ

テ、テ一々勘定シテ行ク、斯ウ云フコトニナッテ居ル、限定承認ハシナイ、寧口單純承認ヲシテ無條件デ先代ノ債權者ハ、例ヘバ其財產ト云フモノガ相續人ノ財產ト一緒ニナッテハ、其效力ヲ及ボサナイ、又人ニ付テモ各國ノ法律モ斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、破産上ノ権利主義ヲ有スルモノハ、即チ内國人ト云フノガ本ニナッテ居リマス、サウシテ其破産ノ宣告ガアルト、其宣告シタル破産ノ效果トシテ、財產ハ日本ニアル財產デ、外國マデ其効力ヲ及ボスト云フコトニナルト、餘程錯雜スルノデアリマス、又サウシテ各國裁判權ノ關係上破産ノ效力ヲ其國內ニ止メテ外國ノ宣告ヲ國內ニマデ及ボサナイト云フ趣意ニナッテ居リマス、其趣旨ヲ茲ニ明ニシタノケデアリマス、四條モ是モ簡單ナ事柄デ、理由書ニ書キマシタ意義以外ニ申上ゲルコトハナインノアリマス、五條ハ是ハ相續財產ト相續人、此コトニ付キマシテハ、破產法ノ金般ニ互リマシテ諸般ノ規定ガアル、此相續財產ト申シマスト、先代ガ死ンデ相續が茲ニ始マテ、即チ相續人ガ相續ヲシタ後ニ於キマシテ、先代カラ受繼イタ財產ガ、即チ此相續財產ト云フノニナルノデ、ソレデ此相續財產モ勿論相續人ノ財產デアル、併ナガラ此破産法案デハ相續財產ト云フモノハ、相續人カラ離レタ一ツノ財團ト見マシテ、之ニ對シテハ破產ノ宣告ヲ獨立シタル人格ニアマセヌケレドモ、殆ド獨立シタ人ト同様ニ見マシテ、其財產ダケヲ本ニシテ、破産ノ申請ヲ爲シ、破産ノ宣告ヲ爲スコトガ出來ルト云フ趣意ヲ、全般ニ通ジテ取テ居ル、其所デ茲ニ相續人、又ハ相續財產ニ對スル破產ノ宣告ト申シマスルノハ、即チ相續人ガ自分ガ元カラ持テ居ラ財產ニ對スル破產ノ宣告ノ場合モアリマスルシ、ソレカラ相續人ニ對スル破產ノ宣告ヘバ、自分ノ財產ト相續財產ト全部合シテ、即チ是ハ一般ノ總財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル場合モ、相續人ニ對スル破產ノ宣告ト云フノ、唯今申シマシタ財團ヲ分離シテ、其財產ニ對シテ破產ノ宣告ヲスル、斯ウニ云フ手續ニナッテ居ルノデアリマス、所カ民法ニハ相續ノ場合ニ限定承認ト云フコトト、財產分離ト云フコトガ別ニアル、限定承認ト申シマスト、御承知ノ通りニ茲ニ相續ガ起テモ、先代ハ澤山ノ負債ヲ残シテ死ンデ居ルノアルカラ、其負債ヲ全部自分が引受けケルト云フコトニナル、到底浮ブ時ガナイノアル、ト云フヤウナ場合ヲ豫想シテ、先代ノ財產限リデ自分ハ相續ヲスルト云フ手續ヲ民法ニ於テ認メテ居ル、是ガ限定承認ト云フコトニナルノアリマス、限定承認ノ場合ニハ此民法ノ規定ニ依ルト、相續財產ト相續人ノ固有ノ財產、是ハ分離ヲシ

州ニ於テ行ハレテ居ルト同様ノ意味ニ於テ、勅令デ之ヲ施行サレルト、共通法ノ適用ニ依リマシテ、此破産法デ總テ之ヲ處理スルト云フコトニナルノデアリマス、其點ハ朝鮮ニ付テモ、臺灣ニ付テモ破産法ノ適用ノ關係ハ同様ニナリマス、

或ハ制令ニ依テ、或ハ法令ニ依テ破産法ヲ適用スル、今度ハ多クハ勅令デ施行スルコトニナルデアラウト思フ、サウ云フコトニナレバ破産法ガ、ヤハリ朝鮮臺灣ハ、日本トシテ行ハレルノハ勿論デアル、關東州モ諸般ノ取扱ヒガ日本ラシク、法律ハ總テヤツテ居リマスカラ、自ラ此意味デ行ハレルデアラ

ウト思フ  
○藤田四郎君 チヨット申上げマスガ、私ハ申上げ方ガ惡ウゴザイマシタガ、主モニ居留地デアリマス、租借地ハ共通法デ行ケヤウト思ヒマスガ、居留地若クハ居留地擬ヒノモノ

ガ澤山アリマス、上海邊ニ澤山アリマス  
○政府委員(山内確三郎君) 是ハ國際法ノ問題デ、私ナドハ頗ル明ルクナインゴザイマス、大體居留地デハ領事裁判所ガアッテ領事裁判所ハ共通法ノ時ニモ議論ニナリマシタガ、結局日本ノ法律ヲ適用スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレハ日本人ト云フコトニナレバ、支那ニ於テ出来テ居ル所ノ會社ガ、日本ノ會社デアルト云フ司法省ノ解釋ガ正シイト云フコトニナレバ、自ラ破産法ノ適用ハアルノデアラウト思ヒマス、尙ホ此コトニ付キマシテハ、國際法ノ關係ニナルノデアリマシテ、一應外務省タリノ専門家ノ人ニ付テ確メタ上ニ、責任アル御答ヲ致シタイト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 今ノ點ニ付テ、チヨットモウ少シ私モ同デ見タイト思ヒマスガ、破産者ノ財產ニシテ日本ニアルモノト云フコトノ解釋デゴザイマスガ、假ニ甲ナル會社ガアッテ日本ニ於テ組織サレテ居ル、其貸借表ノ中ニ支那ニ有シテ居リマスカラ、居工場ガアル、資產トシテ計上サレテ居ル場合ニ、其時ニ於テ其財產ノ所在地ハ、日本以外ノ所ニアルノデアリマスケレドモ、資本關係ニ於テハ、日本内地ニ於テ發表シタ貸借表ニ載テ居ルト云フ場合ニ、其財產ハヤハリ日本ニアルモノト見エルノデアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 財產所在地ハ、勿論現實ニ財產ノアル場所ヲ云フノアリマシテ、貸借對照表ニ假ニ掲ゲテアルド云フヤウナ場合デアリマスト、ソレハ矢張リ英國ニアル財產、斯ウ云フコトニナルノデアラウト思フ

○藤田四郎君 モウ一ツ第二條ノ末項デゴザイマスガ、是ハドンナヤウナ場合ヲ示スモノデアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 但書ノコトデアリマスカ

○藤田四郎君 民事訴訟法ニ依リ云々コトデス  
○政府委員(山内確三郎君) 三條デスカ、是ハ現行民事訴訟法ノ確カ十七條ニアッタモノヲ、少シク擴張シテ茲ニ書

イタノデアリマス、コノ裁判上ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルト云フノハ、例ヘテ申シマスト債權ニ擔保ケ附イテ居ル、外國ノ債權ト云ヒマスカ、擔保ガ付テ居ル、其擔保物ガ内地ニアルト云フコトニナリマスト、訴訟法ノ規定デ内地ノ裁判所ニ訴ヘル、或ハ外國人デアッテモ日本デ或債務ヲ履行スルト云フ約束ガアルト云フヤウナ場合ニハ、日本ノ裁判所ニ訴ヘルト云フ次第デアリマスカラ、三項ハ日本ノ裁判所ニ於テ訴ヘテ、其請求ヲ爲スコトノ出來ルヤウナ債權、ソレハ皆日本ニアルモノト云フコトニ致シタノデ、債權ト云フモノハ全ク無形ノモノデアリマスカラ、是ダケハ民事訴訟法ニ於テモ所在

地ヲ定メテアリマスカ、民事訴訟法デハ債務者ノ所在地ト云フヤウナコトガ一ツト、擔保物ト云フコトガ一ツト書イテアリマス、ソレ以外ニ裁判所ニ訴ヘラレルト云フ債權ガアルノデアリマスカラ、日本ノ裁判所ヘ訴ヘテ取ルコトノ出來ル債權ナラバ、皆日本ニアルモノデアル、斯ウ云フ趣意ニナッテ居リマス

○藤田四郎君 マダ能ク解リマセヌデ、法文デ見タダケデハ我ニ素人ニハ解リマセヌデスガ、例ヘテ言ヘバ外國人デアッテ、其ノ外國人が日本ニ於ケル或債權ヲ有シテ居リ、其ノ外國人が日本ニ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ場合ノコトデゴザイマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 其場合ハ主モニ一ツノ場合、日本ニ於テ訴ヘラレルト云フ場合ハ…

○藤田四郎君 本人ハ日本ニ居ナイ

○政府委員(山内確三郎君) 日本ニ居ナクテモ、財產ヲ残シテ置ケバ訴ヘラレル

○政府委員(山内確三郎君) 其場合ハ主モニ一ツノ場合、日本ニ於テ訴ヘラレルト云フ場合ハ…

○藤田四郎君 ソレハ此條ニ違入ルノデスカ、民事訴訟法ニ依テ…

○政府委員(山内確三郎君) サウデス、十七條ナドガ其一ツデスガ、外國ニ住所ハ有シテ居ナイケレドモ、併ナガラ財產ガ日本ニアルト言ヘバ、十七條デ其物ノ在ル所デ訴ヘラレル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○藤田四郎君 例ヘテ言ヘバ、日本ニ在ル會社ノ株式ヲ外國人ガ有シテ居ル、其株式ハ日本ニハ無イ、外國人モ日本ニ居ラヌ、併ナガラ其株券ノ因テ起ル所ノ會社ガ日本ニアル、斯ウ云フ場合ニハソレハ日本ニアルモノト見ル、斯ウ云

○政府委員(山内確三郎君) 株券モ一ツノ権利デスカ、其權利ノ義務者ガ、即チ會社ガ日本ニ在レバ、日本ノ會社デ

○政府委員(山内確三郎君) 但書ノコトデアリマスカ

アレバ矢張リ十七條デ行ケル、斯ウ云ウコトニナリマス  
○藤田四郎君 此項デ行ケル…

○政府委員(山内確三郎君) 十七條デ行ケルカラ、即チ民事訴訟法ニ依テ裁判上ノ請求ガ出來ルカラ行ケル、斯ルト云フコトニナリマス

又相續人ニ固有ノ財產ト合併シタル、其ノ相續人ノ財產ニ對スル破産ノ宣告ヲジタト云フ御話デアリマスガ、常ニ此法文ノ中ニアル、此相續人ニ對スル破産ト云フノハ、其意味ニ解説シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 私ハ二ツノ場合ヲ包含シテ居ルト云フコトニ申シマシタノデス、相續人ガ相續ニ依テ受ケタ財產ト、自分ノ財產ヲ合シテ破産ノ宣告ヲスル場合モアル、ソレカラモウ一ツハ茲ニ相續財產ノ破産ケ起ル、同時ニ相續人ニモ破産ケ起ル、其場合ハ相續人ノ固有財產ノカ相續人ニ對スル破産財產ニナル、斯ウ云フ場合デアル、相續人ニ對スル破産ト云フノハ、場合ニ依テハ全財產ニ對スルコト、場合ニ依リマスレバ固有財產ノミニ止マルコトガアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○男爵矢吹省三君 モウ一ツ伺ヒマスガ、其但書ノ意味ガ私ニハ能ク了解出來ナインデアリマス、ソレヲ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 此破産取消ト申シマスルト、破産ノ宣告バシタ、併ナガラ後ニ抗告ノ結果ソレガ取消サレテ破産ガナイヤウニナル、ソレカラ破産廢止ノ決定ト言ヒマスト、破産ヲ續ケテ行タケレドモ、寧口止メテ仕舞ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 此破産取消ト申シマスルト、破産ノ宣告バシタ、併ナガラ後ニ抗告ノ結果ソレガ取消サレテ破産ガナイヤウニナル、ソレカラ破産廢止ノ決定ト言ヒマスト、破産ヲ續ケテ行タケレドモ、寧口止メテ仕舞ヒマス、債權者ノ多數決ニ依テ…多數決ト言シテモ單純ナ多數決ヲハアリマセヌカ、要スルニ決議ニ依テ破産ヲ廢止スルト云フコトヲ申出デルト、裁判所ガ破産廢止ノ決定ヲスル、ソレデ破産ハ是デ終ルノデス、其外ニ破産ノ終結ヲスル、ソレカラ強制和議ノ結果破産ノ終結ヲ爲スコトモアル、サウ云フ理由デ破産ガ茲ニ止ル、止レバソレデ破産手續ト云フモノガ無クナリマスカ、當ラス、カリ終ラテ破産ノ終結ヲスル、ソレカラ強制和議ノ結果破産手續中ハ限定承認、財產分離ノ手續ヲ更ニ進行スル、其

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デゴザイマスカ、一章ニ付テ、モウ少シ御質問ガゴザイマスカ

○松室致君 今ノ第五條ノ中止デスネ、中止スレバドウナリマスカ、其財産分離、ソレカラ財産分離ト云フ手續ヲ中止スル譯ニナルノデスカラ、矢張リソレヲ分配シテ仕舞フヤウナコトニナルノデスカ

○政府委員(山内確三郎君) 財産分離モ限定承認ノ手續モ、結局財産ヲ手分ヲシテ、財產管理人ト云フモノガ

ゴザイマス、遺產管理人ト云フモノガコザイマシテ、或ハ相續人自ラヤルコトモアルガ、其財產ヲ管理人ガ處分ヲシテ、サ

ウシテ債權者ニ拂フ手續ニナルノデアリマス、民法上ノ手續モ、然ニ破產宣告ガアルト、矢張リ分離セラレタル財產即チ相續財產、限定承認又ハ分離セラレタル所ノ矢張リ

相續財產、ソレヲ賣シテ其債權者ニ辨濟スルト云フ手續目的ハ同ジアリマスガ、一ツハ遺產管理人ガ主トシテスル破產ノ場合ハ破產管財人ガスル、ソコデ破產ノ場合ハ極メテ

鄭重ナル手續ヲ以テ、後ニ争ヨ生ジナイ手續ヲ配當等ニ付テ總定メテ居リマスカラ、此財產ノ處分手續ナリ、或ハ配

當手續ハ皆破產手續アルカラ、一方ノ限定承認、財產分離ニ依テ、清算手續ト云フモノヲ續ケテ居ルノガ止マル、十度會社が解散シテ清算中ニ破產ノ宣告ガアルト、清算ノ方

ハ止メテ破產ニ移ルト云フノト同ジアリマス、併ナガラ限

定承認ト云フモノハ、御承知ノ通り財產管理人ニ責任ガアルト云フ效力ガ茲ニ生ズル、其效力ト云フモノハ破產ガア

タガ爲メニ消滅スルモノデハナイアリマス、限定承認ヲシテ後ニ破產宣告ガアッタガ爲メニ、相續人ハ全部ノ責任ト

云フモノハ生ジナインデアリマス、限定承認ノ效力ハ無クナルニアリマセヌ、ソレカラ財產分離ノ方ニ至リマシテモ、是ハ破產手續ガズト終テ仕舞シテ、全財產ヲ處理シテ仕舞シタラバデス、實ハ財產分離ト云フコトハ是デ御仕舞ヒニ多

クナリマス、限定承認ノ清算手續モ結局其通リテ、實際進行スル餘地ハナイヤウニナッテ仕舞フダラウト思ヒマスガ、此

破產が取消サレル、強制和議ガ起シ、或ハ破產ヲ廢止セラル、ト云フヤウナ場合ハ、全財產ノ換價處分ト云フモノノ終ラザル場合ニ止ルコトガ多イノデアル、サウシマスト云フト、

今度ハ限定承認ノ手續ヲ更ニ續ケテ、或ハ財產分離ノ手續ヲ更ニ續ケテ、サウシテ清算手續ヲ續ケナケレバナラナイ、

一時之ニ中止シテ置クト云フコトニナルノデアリマス

○松室致君 サウスルト破產廢止トカ云フヤウナ場合ニハ宜イデスガ、破產終結スルト云フ場合ニハ、財產分離スル餘地ガ無クナッテ、其分離ヲ妨ゲズト云フコトハ、全効果ガ無イコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) 必シモサウデナイノデアリマス、此破產終結ノ中ニ、強制和議デ終結スル場合ハ、是ハ勿

論財產分離スルノハ當然アリマス、ソレデ相續人ニ對スル

破產ノ宣告ガアル、即チ私前ニ例ヲ舉ゲマシタ一ツノ方ノ

全財產ニ對シテ破產ノ宣告ガ起ル、サウ云フ時ニハ財產分離ノ請求ヲシテ置キマスト云フコトデス、相續人ノ財產トソ

レカラ相續財產ト茲ニ分レテ、破產手續ニ於テハ破產管財人ガ處分スルニ付テ、ソレハ分離シテ、サウシテ相續債權

即チ先代ノ債權者ハ、相續債權ニ付テハ優先權ヲ有ツ、相續人ノ債權者ハ選レテ辨濟ヲ受ケル、ソレカラ相續人ノ固

有財產ニ付テハ、相續人ノ債權者ノ方が勝ツテ、相續債權者ガ負ケルト云フ破產債權者ノ順位ガ、財產分離ア分レ

テシマフノデアリマス、ソレデアリマスカラ破產宣告中ト雖モ、

財產分離ノ請求ハ許サナクテハナラヌ、其效果が現ハレル、併ナガラ中止シテ置イテモ、破產手續デ順位テ辨濟シテシ

マヒマスカラ、御話ノヤウニ中止デナクシテ、配當ヲ以テ破產手續ヲ終結スルトキニハ、財產分離ノ效力ヲ残シテ置ク必

要ハナイ場合ガ多カラウト思ヒマス、併ナガラ時トシマスト云フト、破產ニハガ掛タケレドモ、案外財產ガ多カタト云

フガ爲ニ、財產殘ルヤウナ場合ガ生ズル、サウ云フ場合ニ矢張リ此財產分離ノ手續ハ之ガ了ルト云フト、矢張リ續ケテ行クト云フ必要ハ、理論上ハ生ジマスガ、財產ノ效力ハ手續中ニ分ケル此手續ハ中止スル、簡單ニ普通ノ場合ヲ想像シテ解釋シテ居リマス

○菅原通敬君 サウスルト第五條ノ書キ方ハ、但書ガ寧ロ本則ノヤウニナッテシマフヤウデスガ、斯ウ書イテアルコトト

同ジコトニナルノデアリマセウカ「相續人又ハ相續財產ニ對スル財產ノ宣告アリタルトキハ破產取消若ハ破產廢止ノ決定カ確定シ又ハ破產終結ノ決定アル迄限定承認又ハ財

產分離ノ手續ヲ中止ス」斯ウ書ク…

○政府委員(山内確三郎君) ソレダケデ足リマセヌノハ、

破產手續中ニ財產分離ヲスルコトガ出來ルヤ否ヤ、ソレカラ殊ニ破產者ガ破產手續中ニ限定承認ヲスルト云フコトハ、

一ツノ財產ニ付テノ破產者ガソコニ破產宣告ノ或行爲ヲスル、是ガ許セルカ否ヤ、破產宣告後ニ破產者ノ爲シタル行爲ハ無效ト云フコトガ本則トシテ出來上ヲテ居ル、限定承認ハ

破產手續中ト雖モ、先ヅ唄フ必要ガアルト云フコトデ、之ヲ先キニ書イタノデアリマス、本當ノ効キハ但書ニアルダラウト思ヒマス

出席者左ノ如シ

伯爵松平 賴壽君

河村 矢吹

讓三郎君

四郎君

邦憲君

加太

菅原

寅二郎君

司法次官山内 確三郎君

司法省民事局長池田

寅二郎君

司 法 次 官 山 内 確 三 郎 君

司 法 次 官 山 内 確 三 郎 君

大正十一年二月三日印刷

大正十一年二月四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局